

I 一般廃棄物処理事業の概要

1 総括事項

(1) 県内の状況

三重県の令和6年度末の市町数は14市15町、一部事務組合は9事務組合、広域連合は3広域連合です。

令和6年10月1日現在の行政区域内人口は、1,738,731人であり、令和5年度より17,941人の減少となりました。

なお、県内全域が「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第6条に基づく計画処理区域となっています。

区 分	県 計	市 計	町 計
面 積 (k m ²)	5,774.48	4,031.95	1,742.52
世帯数 (世帯)	756,795	669,042	87,753
人 口 (人)	1,738,731	1,523,010	215,721

注1：面積と世帯数は「三重県県勢要覧(令和7年版)」記載数値、人口は一般廃棄物処理事業実態調査集計数値

(2) 一般廃棄物処理事業経費

1) 歳入及び歳出

廃棄物処理事業経費歳入の内訳は、一般財源が31,620,981千円(84.5%)、特定財源が5,796,525千円(15.5%)、合計が37,417,506千円で令和5年度より6.7%の増加となっています。

なお、割合としては、ごみ処理にかかる歳入が全体歳入額の85.6%を占めています。

一方、廃棄物処理事業経費歳出の内訳は、建設・改良費が2,367,918千円(6.3%)、処理及び維持管理費が33,198,785千円(88.9%)、その他が1,796,816千円(4.8%)となっています。

建設・改良費の内訳は、ごみ処理施設の建設に係る経費は2,302,844千円、し尿処理施設の建設に係る経費は65,074千円となっており、建設・改良費全体は令和5年度と比較して46.4%増加しています。また、処理及び維持管理費の内訳は、ごみ処理施設に係る経費は28,274,143千円、し尿処理施設に係る経費は4,924,642千円となっており、処理及び維持管理費全体は令和5年度から5.6%増加しています。

注1：比率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため合計が100%にならないこともある。

【歳入内訳】

(単位：千円)

区 分		ご み	し 尿	計
特定財源	国庫支出金	115,935	146,312	262,247
	都道府県支出金	13,841	4,260	18,101
	地 方 債	592,600	98,600	691,200
	使用料及び手数料	2,934,252	162,126	3,096,378
	そ の 他	1,662,747	65,852	1,728,599
	小 計	5,319,375	477,150	5,796,525
一 般 財 源		26,715,077	4,905,904	31,620,981
合 計		32,034,452	5,383,054	37,417,506

注1：二重計上を避けるため、一部事務組合が市町から受け入れる市町分担金は集計に含めていない。

【歳出内訳】

(単位：千円)

区 分		ご み	し 尿	計		
建設・改良費	工事費	収集運搬施設	191,110	0	191,110	
		中間処理施設	1,648,215	46,970	1,695,185	
		最終処分場	129,421	0	129,421	
		そ の 他	302,228	18,104	320,332	
	調 査 費		31,870	0	31,870	
	小 計		2,302,844	65,074	2,367,918	
処理及び維持管理費	人件費	一 般 職	1,965,495	368,955	2,334,450	
		技 能 職	収集運搬費	2,065,580	141,621	2,207,201
			中間処理費	609,171	95,192	704,363
			最終処分費	119,531	40,013	159,544
	処理費	収集運搬費	694,922	56,511	751,433	
		中間処理費	3,285,001	1,553,932	4,838,933	
		最終処分費	389,005	85,550	474,555	
	車両等購入費		206,561	0	206,561	
	委託費	収集運搬費	7,695,830	451,911	8,147,741	
		中間処理費	10,579,688	1,982,556	12,562,244	
		最終処分費	386,491	25,114	411,605	
		そ の 他	257,078	118,195	375,273	
	調査研究費		19,790	5,092	24,882	
	小 計		28,274,143	4,924,642	33,198,785	
そ の 他		1,457,465	339,351	1,796,816		
合 計		32,034,452	5,329,067	37,363,519		

注1：二重計上を避けるため、一部事務組合が市町から受け入れる市町分担金は集計に含めていない。

(3) 廃棄物処理施設

1) ごみ処理施設

ごみ処理施設は、8市2町4事務組合等に17施設設置され、
処理能力は2,168 t / 日です。

施設種別	焼却処理施設			ごみ燃料化 施設	合計
	全連続	准連続	バッチ		
施設数	11	0	4	2	17
処理能力 (t / 日)	1,958	0	169	41	2,168

※ 令和6年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

2) 粗大ごみ処理施設

粗大ごみ処理施設は、4市4事務組合等に10施設設置され、
処理能力は333 t / 日です。

施設種別	破碎施設	圧縮施設	併用施設	計
施設数	8	0	2	10
処理能力 (t / 日)	292	0	41	333

※ 令和6年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は施設種別ごとに記載し、計は実数の施設数、処理能力を記載。

3) 資源化等を行う施設

資源化等を行う施設は、7市3町5事務組合等に18施設設置され、
処理能力は690 t / 日です。

施設種別	選別	圧縮・梱包	ごみ堆肥化	ごみ飼料化	その他	計
施設数	14	13	0	0	3	18
処理能力 (t / 日)	251	356	0	0	83	690

※ 令和6年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は施設種別ごとに記載し、計は実数の施設数、処理能力を記載。

4) 最終処分場

最終処分場は、11市6町3事務組合等に23施設設置されており、年間埋立量は13,828m³、全体容量は4,762,284m³、残余容量は468,688m³です。

施設種別	山間	平地	計
施設数	18	5	23
全体容量(m ³)	4,466,489	295,795	4,762,284
年間埋立量(m ³)	13,113	715	13,828
残余容量(m ³)	412,592	56,096	468,688

※ 令和6年度末現在において新設(建設中)、休止、廃止の施設を除く。

※ 埋立終了施設は含む。

5) し尿処理施設

し尿処理施設は、6市1町6事務組合等に14施設設置されており、処理能力は2,082kℓ/日です。

施設種別	嫌気性	好気性	標準脱窒素	高負荷脱窒素	膜分離	下水投入	計
施設数	0	0	3	10	9	0	14
処理能力(kℓ/日)	0	0	530	1,517	982	0	2,082

※ 令和6年度末現在において新設(建設中)、休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は施設種別ごとに記載し、計は実数の施設数、処理能力を記載。

(4) 一般廃棄物処理事業従事職員（自治体）

令和6年度末における一般廃棄物処理事業従事職員は、ごみ処理で819人、し尿処理で116人が従事しており、ごみ処理従事者が87.6%を占めており、ごみ処理従事者のうち、収集運搬職員が41.6%を占めています。

（単位：人）

	一般職		技能職				合計
	事務系	技術系	収集運搬	中間処理	最終処分	その他	
ごみ処理	264	52	341	135	19	8	819
し尿処理	64	12	22	18	0	0	116
合計	328	64	363	153	19	8	935

(5) 一般廃棄物処理業者関係

一般廃棄物処理の委託・許可件数は、ごみ処理の委託業として274件、許可業として1,931件あり、うち、収集運搬に伴う件数が93.9%を占めています。

し尿処理の委託・許可件数は、委託業として47件、許可業として116件あり、ごみ処理と同様、収集運搬が大部分で90.2%を占めています。

また、業者数としては、合計966業者、9,015人の従業員が従事しています。

（単位：件）

	収集運搬		中間処理		最終処分		合計	
	委託業	許可業	委託業	許可業	委託業	許可業	委託業	許可業
ごみ処理	189	1,882	66	48	19	1	274	1,931
し尿処理	33	114	5	2	9	0	47	116
合計	222	1,996	71	50	28	1	321	2,047

	ごみ（し尿兼業を含む）	し尿（ごみ兼業を含む）	業者数の実数の計
業者数（件）	889	99	966

	収集運搬 （他処理を含む）	中間処理 （他処理を含む）	最終処分 （他処理を含む）	従業員数の 実数の計
従業員数（人）	8,081	978	14	9,015

(6) 収集運搬機材

市町・一部事務組合等、委託業者及び許可業者の所有するごみの収集運搬機材の合計台数は9,416台、積載量は25,062tです。

また、し尿の収集運搬機材の合計台数は733台、積載量は2,909klです。

	ごみ収集運搬機材(積載量: t)												合計
	直営分				委託業者分				許可業者分				
	収集車	運搬車		運搬船等の船舶	収集車	運搬車		運搬船等の船舶	収集車	運搬車		運搬船等の船舶	
		収集運搬	中間処理			収集運搬	中間処理			収集運搬	中間処理		
台数	246	85	23	0	711	97	48	7	7,325	859	0	15	9,416
積載量	609	136	86	0	1,809	480	361	101	18,530	2,755	0	195	25,062

	し尿収集運搬機材(積載量: kl)												合計
	直営分				委託業者分				許可業者分				
	収集車		運搬車	運搬船等の船舶	収集車		運搬車	運搬船等の船舶	収集車		運搬車	運搬船等の船舶	
	バキューム車	その他			バキューム車	その他			バキューム車	その他			
台数	10	0	5	0	73	5	18	2	559	31	28	2	733
積載量	18	0	44	0	293	10	150	53	2,013	163	120	45	2,909

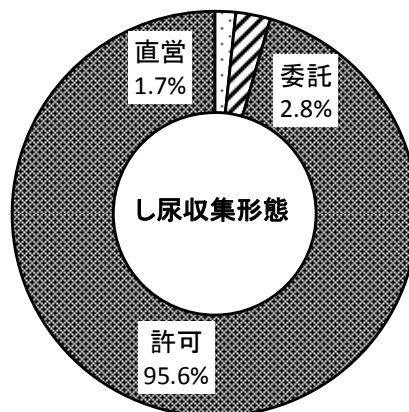
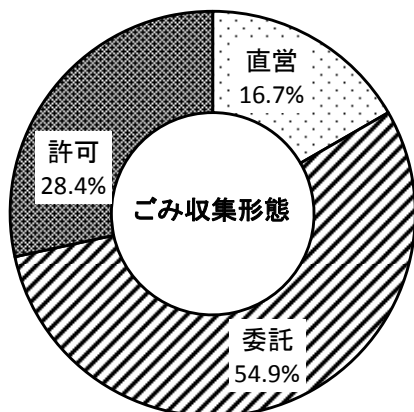
(7) 収集形態

ごみの収集量は 493,210 t / 年 (令和5年度比: 2.5%減少)、し尿 (浄化槽汚泥を含む) の収集量は 577,292 kℓ / 年 (令和5年度比: 2.6%増加) です。

形態別のごみの収集量は、直営が 82,301 t / 年 (令和5年度比: 10.1%減少)、委託が 270,757 t / 年 (令和5年度比: 1.0%減少)、許可業者によるものが 140,152 t / 年 (令和5年度比: 0.4%減少) です。

形態別のし尿の収集量は、直営が 9,672 kℓ / 年 (令和5年度比: 4.0%減少)、委託が 15,927 kℓ / 年 (令和5年度比: 48.7%増加)、許可業者によるものが 551,693 kℓ / 年 (令和5年度比: 1.8%増加) です。

区 分			収 集 量 ごみ: (t / 年) し尿: (kℓ / 年)	構 成 (%)	前年度比 (%)
ご み	市町・組合によるもの	直 営	82,301	16.7	-10.1
		委 託	270,757	54.9	-1.0
		小 計	353,058	71.6	-3.3
	許可業者によるもの		140,152	28.4	-0.4
	計		493,210	100.0	-2.5
	災害廃棄物		0	0.0	前年度実績なし
	合 計		493,210	100.0	-2.5
し 尿	市町・組合によるもの	直 営	9,672	1.7	-4.0
		委 託	15,927	2.8	48.7
		小 計	25,599	4.4	23.1
	許可業者によるもの		551,693	95.6	1.8
	合 計		577,292	100.0	2.6



(8) 処理形態

ごみの処理量は、551,282 t / 年（令和5年度比：2.5%減少）、し尿（浄化槽汚泥を含む）の処理量は577,292 kℓ / 年（令和5年度比：2.6%増加）です。

形態別のごみの処理量として、直接焼却処理量は462,594 t / 年（令和5年度比：3.3%減少）、粗大ごみ処理量は21,677 t / 年（令和5年度比：10.0%減少）、堆肥化処理量は1,308 t / 年（令和5年度比：17.9%増加）、メタン化処理量は4,556 t / 年（令和5年度比：2712.3%増加）、燃料化処理量は5,411 t / 年（令和5年度比：3.6%減少）、その他資源化等処理量は29,029 t / 年（令和5年度比：3.5%増加）、その他処理量は488 t / 年（令和5年度比：13.0%減少）、直接資源化量は21,699 t / 年（令和5年度比：2.7%減少）、直接埋立量は4,160 t / 年（令和5年度比：9.0%減少）です。また、自家処理量は360 t / 年（令和5年度比：1.4%増加）です。

し尿の形態別処理量として、し尿処理施設での処理量は577,292 kℓ / 年（令和5年度比：2.6%増加）です。

区 分		処理量 ごみ：(t/年) し尿：(kl/年)	構 成 (%)	前年度比 (%)	
ご み	処理施設による 処 理 量※	直接焼却	462,594	83.9	-3.3
		粗大ごみ処理	21,677	3.9	-10.0
		堆肥化	1,308	0.2	+17.9
		飼料化	0	0.0	前年度実績なし
		メタン化	4,556	0.8	+2712.3
		燃料化	5,411	1.0	-3.6
		その他資源化等	29,029	5.3	+3.5
		そ の 他	488	0.1	-13.0
		直接資源化	21,699	3.9	-2.7
		直接埋立	4,160	0.8	-9.0
		小 計	550,922	99.9	-2.5
	自 家 処 理	360	0.1	+1.4	
	計	551,282	100.0	-2.5	
し 尿	処理施設による 処 理 量	し尿処理	545,174	94.4	-3.1
		ごみ堆肥化	0	0.0	前年度実績なし
		メタン化	0	0.0	前年度実績なし
		下水道投入	32,118	5.6	前年度実績なし
		農地還元	0	0.0	前年度実績なし
		そ の 他	0	0.0	前年度実績なし
		小 計	577,292	100.0	+2.6
	自 家 処 理	0	0.0	前年度実績なし	
計	577,292	100.0	+2.6		

※施設での処理量を計上

2 ごみ処理

(1) ごみ処理

ごみ処理の計画処理区域は県内全域となっており、計画収集区域内人口のうち計画収集人口は1,738,731人です。

ごみ総排出量は、558,629 t / 年で前年度比2.6%減少しています。このうち処理施設で550,867 t / 年(98.6%)処理されており、残りの大部分の7,762 t / 年(1.4%)が集団回収されています。

処理施設で処理されるもののうち、焼却施設等で処理、再資源化される量(埋立以外)は546,707 t / 年で全体の99.2%を占めています。

一方、直接埋立量は4,160 t / 年で前年度比9.0%の減少、集団回収量は7,762 t / 年で前年度比10.2%の減少です。

自家処理量は、360 t / 年であり、前年度比1.4%の増加です。

また、資源化率は19.0%となり、昨年度と比べ0.5%減少しました。

ごみの排出量の推移をみると、総排出量は減少傾向が続いています。今後もより一層、ごみの再資源化と併せ、住民と一体となった減量化に向けた取組を推進していく必要があります。

市町別に一人一日あたりのごみの排出量を比べると、各市町間の格差は大きい状態が続いています。

ごみの発生量についても地域格差が見られることから、管内の状況を十分把握し、将来にわたり安定した適正な処理ができるよう、地域特性に十分配慮した一般廃棄物処理計画の策定や3Rの推進について一層努めていくことが必要です。

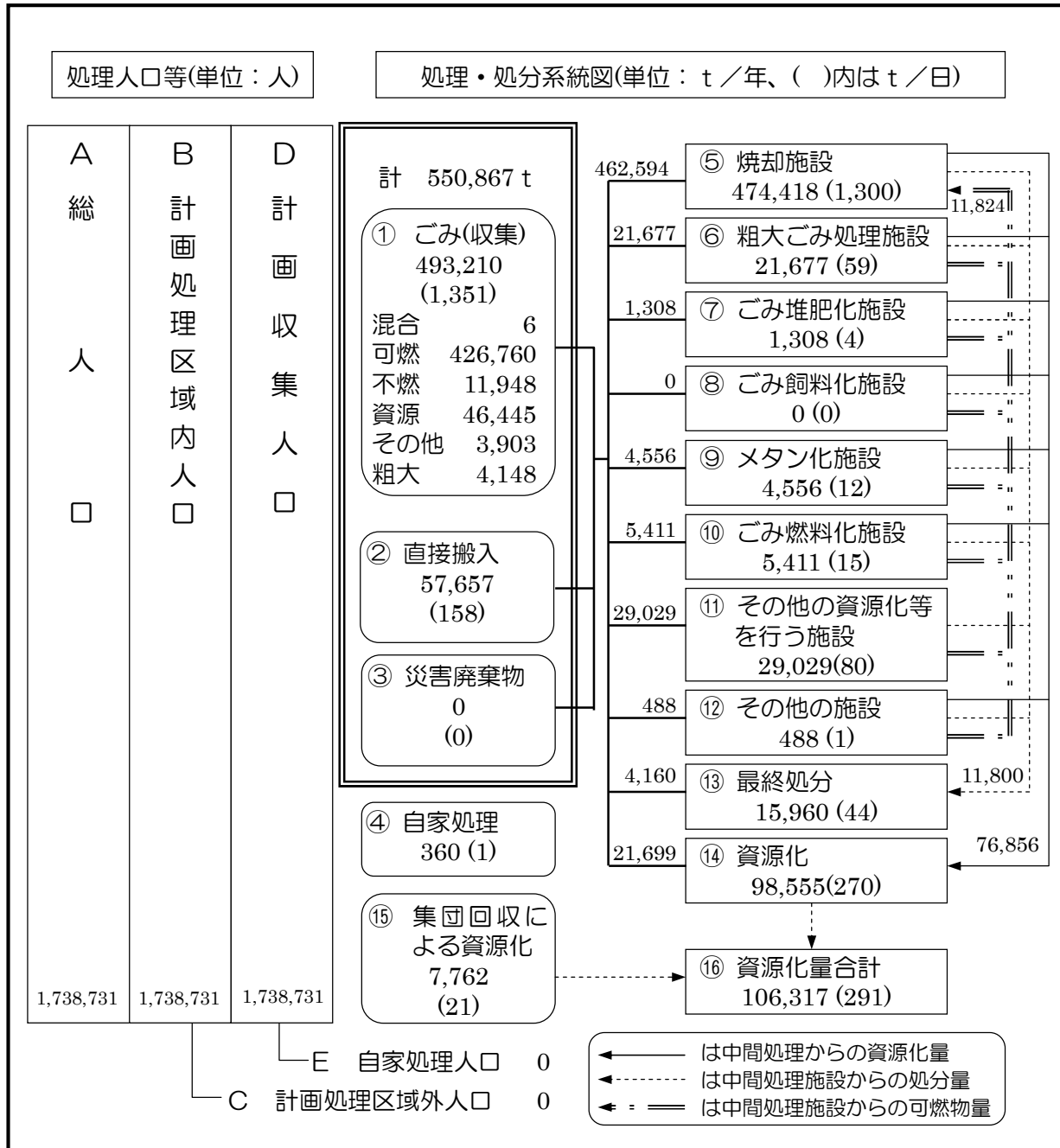
ごみ処理全体の維持管理費等の経費は、28,274,143千円であり、1tあたりの処理に要する経費は51,327円(28,274,143千円÷550,867t)となり、令和5年度と比較して4,172円/t高くなりました。

(2) ごみ処理の状況

項目			数値	単位	
計画収集人口等	計画収集区域内面積		5,774.48	km ²	
	計画収集区域内人口		1,738,731	人	
	計画収集人口		1,738,731	人	
	自家処理人口		0	人	
収集形態別内訳	収集ごみ	市町・組合によるもの	直 営	82,301	t/年
			委 託	270,757	t/年
			小 計	353,058	t/年
	許可業者によるもの		140,152	t/年	
	計		493,210	t/年	
	直接搬入ごみ		57,657	t/年	
	災害廃棄物		0	t/年	
	合 計		550,867	t/年	
処理内訳	処理形態別内訳		直接焼却	462,594	t/年
			粗大ごみ処理	21,677	t/年
			堆肥化	1,308	t/年
			飼料化	0	t/年
			メタン化	4,556	t/年
			燃料化	5,411	t/年
			その他資源化等	29,029	t/年
			そ の 他	488	t/年
			直接資源化	21,699	t/年
			直接埋立	4,160	t/年
			小 計	550,922	t/年
集団回収量			7,762	t/年	
総排出量			558,629	t/年	
自家処理量			360	t/年	
総排出量(参考)			551,227	t/年	

※「総排出量(参考)」＝「収集ごみ量」＋「直接搬入ごみ量」＋「自家処理量」＋「災害廃棄物」

(3) ごみ処理のフロー図



【三重県】

- 計画収集区域率 B/A=100% • 計画収集率 D/A=100%
- 計画収集量 ①=493,210 t/年 • 計画処理量 ①+②+③=550,867 t/年
- 総排出量 ①+②+③+⑮=558,629 t/年
- 1人1日あたりのごみ排出量 (①+②+③+⑮) × 10⁶ / (B × 365) = 880 g/人・日
- 資源化率 ⑯ / (①+②+③+⑮) = 19.0%
- 再利用率 (⑯ - (⑮+⑩からの資源化量+⑤からの資源化量)) / (①+②+③) = 12.0%
- 減量処理率 (①+②+③-⑬) / (①+②+③) = 97.1%

【全国】※災害廃棄物を除く。(出典：日本の廃棄物処理 令和5年度版)

- 総排出量 3,897万 t/年 • 計画処理量 3,758万 t/年
- 1人1日あたりのごみ排出量 851 g/人・日
- 資源化率 19.5% • 減量処理率 99.2%

※再利用率 (⑯-⑮-(溶融スラグ+固形燃料+セメント原料+山元還元)) / (①+②+③)

(4) ごみ処理形態の推移

項目 / 年度	単位	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
総人口	人	1,738,731	1,756,672	1,772,560	1,785,633	1,800,585
計画処理区域内人口	人	1,738,731	1,756,672	1,772,560	1,785,633	1,800,585
計画収集量	t/年	493,210	505,816	524,120	538,541	546,136
直接搬入量	t/年	57,657	59,113	61,718	62,902	65,095
集団回収量	t/年	7,762	8,640	9,751	9,947	11,051
災害廃棄物	t/年	0	0	0	0	0
ごみ総排出量	t/年	558,629	573,569	595,589	611,390	622,282
一人一日あたりごみ排出量	g/人・日	880	892	921	938	947
自家処理量	t/年	360	355	354	349	345
ごみ総排出量(参考)	t/年	551,227	565,284	586,192	601,793	611,576
一人一日あたりごみ排出量(参考)	g/人・日	869	879	906	923	931
直接焼却量	t/年	462,594	478,541	494,498	502,176	508,190
直接資源化量	t/年	21,699	22,295	25,248	26,608	26,825
直接埋立量	t/年	4,160	4,572	5,265	6,124	5,116
堆肥化量	t/年	1,308	1,109	1,044	505	564
その他中間処理量	t/年	61,161	58,479	59,783	66,002	72,108
計	t/年	550,922	564,996	585,838	601,415	612,803
最終処分量	t/年	15,960	16,214	19,074	20,601	19,467
生活系ごみ	t/年	394,146	406,735	424,141	440,211	450,306
事業系ごみ	t/年	156,721	158,194	161,697	161,232	160,925
資源化率	%	19.0	19.5	19.7	20.0	20.5
再利用率	%	12.0	12.5	12.0	12.2	12.0
項目 / 年度	単位	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
総人口	人	1,812,396	1,820,731	1,829,745	1,834,621	1,836,741
計画処理区域内人口	人	1,812,396	1,820,731	1,829,745	1,834,621	1,836,741
計画収集量	t/年	552,665	553,688	556,704	556,872	562,951
直接搬入量	t/年	61,319	60,052	56,297	61,784	61,187
集団回収量	t/年	14,228	14,875	16,771	17,737	20,618
災害廃棄物	t/年	91	0	1,449	0	22
ごみ総排出量	t/年	628,303	629,059	631,221	636,393	644,778
一人一日あたりごみ排出量	g/人・日	947	947	945	950	959
自家処理量	t/年	342	330	335	334	329
ごみ総排出量(参考)	t/年	614,417	614,070	614,785	618,990	624,489
一人一日あたりごみ排出量(参考)	g/人・日	926	924	921	924	929
直接焼却量	t/年	479,737	438,992	435,551	439,336	424,243
直接資源化量	t/年	26,421	27,861	28,574	30,466	32,890
直接埋立量	t/年	6,737	10,409	7,572	6,443	17,756
堆肥化量	t/年	648	1,385	1,309	1,289	1,350
その他中間処理量	t/年	100,924	141,178	141,342	140,462	147,920
計	t/年	614,467	619,825	614,348	617,996	624,159
最終処分量	t/年	22,015	24,551	21,807	20,963	36,049
生活系ごみ	t/年	441,152	439,409	435,267	439,321	445,144
事業系ごみ	t/年	172,832	174,331	177,734	179,335	178,994
資源化率	%	23.1	26.7	27.3	27.4	28.5
再利用率	%	11.7	12.3	12.4	13.5	14.5

※ 「その他中間処理量」とは、中間処理施設(「焼却施設」、「ごみ堆肥化施設」を除く)による処理量です。

※ 「生活系ごみ」には、「集団回収量」は含んでいません。

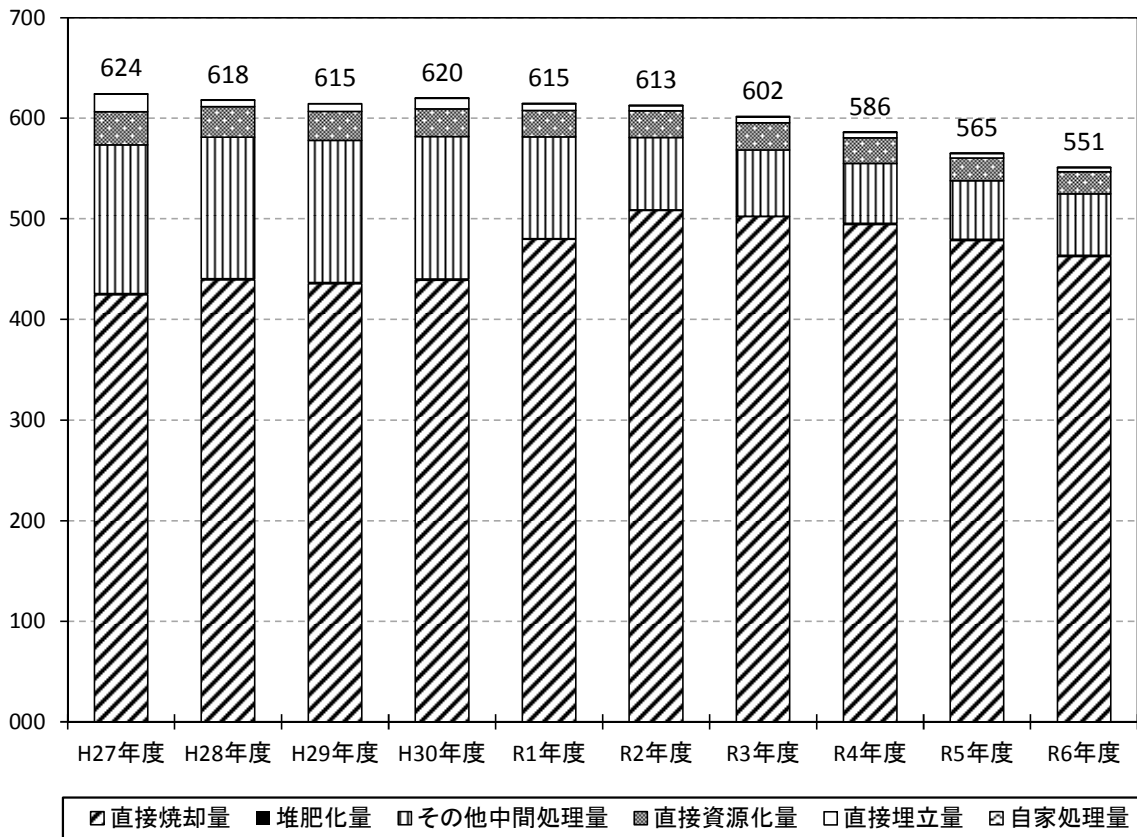
※ 平成23年度実績より、災害廃棄物が別集計となったため、項目を追加しています。

災害廃棄物は、生活系・事業系の区分はありません。

※ 「総排出量(参考)」 = 「収集ごみ量」 + 「直接搬入ごみ量」 + 「自家処理量」 + 「災害廃棄物」

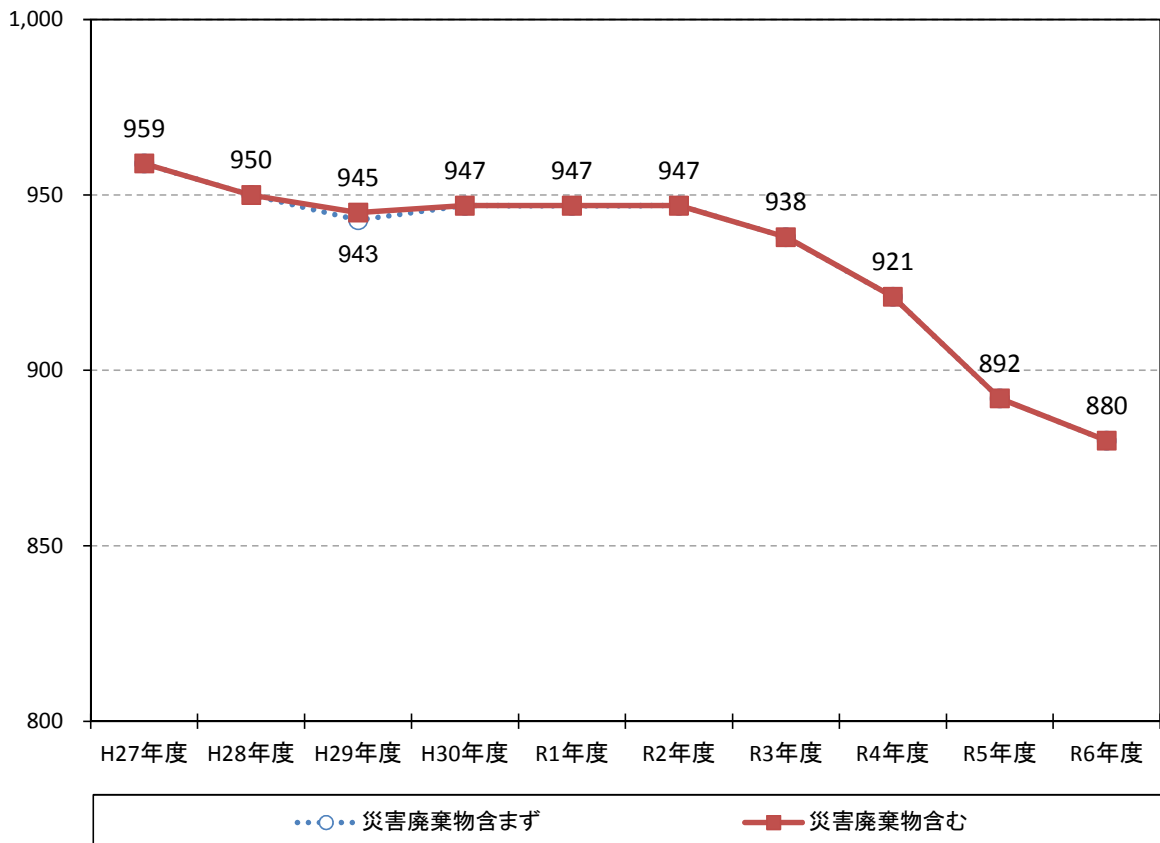
処理量(千t/年)

ごみ処理形態の推移



(g/人・日)

一人一日あたりのごみ排出量

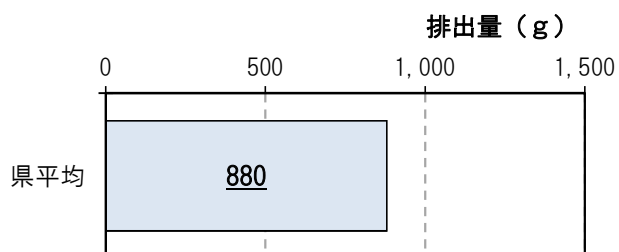
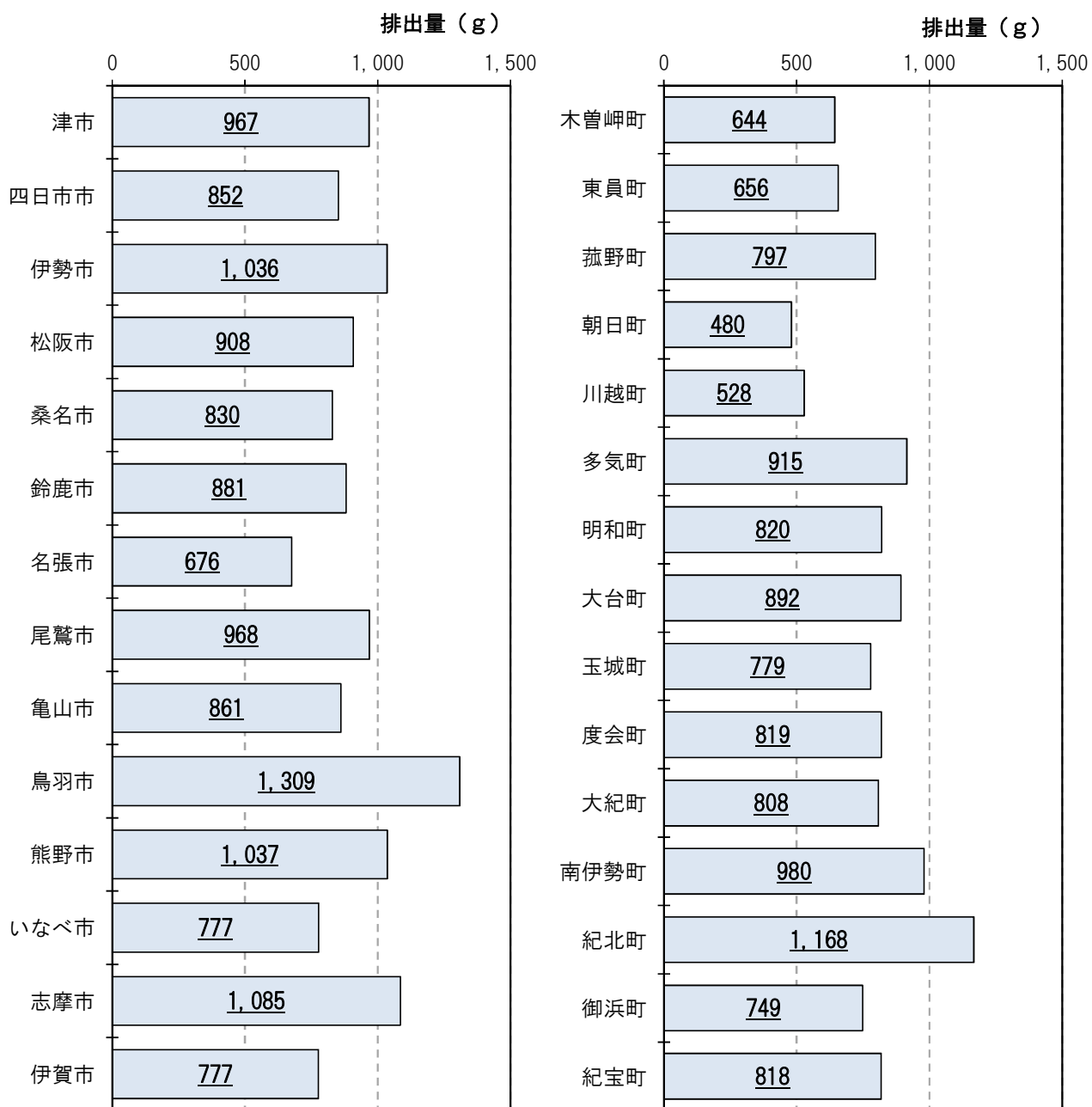


(5) 1人1日あたりのごみ排出量

(g/人・日)

市町名	令和6年度 実績	令和5年度 実績	令和4年度 実績	令和3年度 実績
津市	967	975	985	998
四日市市	852	870	913	924
伊勢市	1,036	1,056	1,083	1,097
松阪市	908	927	956	991
桑名市	830	840	858	1,002
鈴鹿市	881	887	928	923
名張市	676	689	712	725
尾鷲市	968	1,005	1,036	1,047
亀山市	861	883	937	944
鳥羽市	1,309	1,299	1,324	1,236
熊野市	1,037	1,047	1,087	1,023
いなべ市	777	781	818	826
志摩市	1,085	1,096	1,119	1,080
伊賀市	777	764	779	787
木曾岬町	644	677	673	684
東員町	656	673	702	727
菰野町	797	795	810	804
朝日町	480	509	536	567
川越町	528	546	593	606
多気町	915	914	982	904
明和町	820	848	873	873
大台町	892	888	877	887
玉城町	779	810	839	860
度会町	819	880	912	945
大紀町	808	818	831	833
南伊勢町	980	969	965	889
紀北町	1,168	1,188	1,226	1,198
御浜町	749	691	716	709
紀宝町	818	794	802	794
県平均	880	892	921	938

【1人1日あたりのごみ排出量】



3 し尿処理

(1) し尿処理

し尿処理の計画処理区域は県内全域になっており、計画処理区域内人口は1,738,731人であり、そのうち水洗化人口は、1,665,837人(95.8%)、非水洗化人口は72,894人(4.2%)です。

水洗化人口の内訳は、公共下水道人口973,508人(58.4%)、浄化槽人口614,415人(36.9%)、集落排水施設等人口74,345人(4.5%)コミュニティ・プラント人口3,569人(0.2%)です。また、非水洗化人口のうち計画収集人口は72,894人(100.0%)、自家処理人口は0人(0.0%)です。

令和5年度と比べると、水洗化人口では公共下水道人口が19,790人減少、浄化槽人口が6,769人増加、集落排水施設等人口が1,273人減少、コミュニティ・プラント人口が81人減少しています。

なお、非水洗化人口のうち、計画収集人口は3,566人減少しています。

し尿の計画収集量は、し尿が77,976kℓ/年(13.5%)、浄化槽汚泥が499,316kℓ/年(86.5%)で収集総量は577,292kℓ/年です。また、自家処理量は0kℓ/年です。

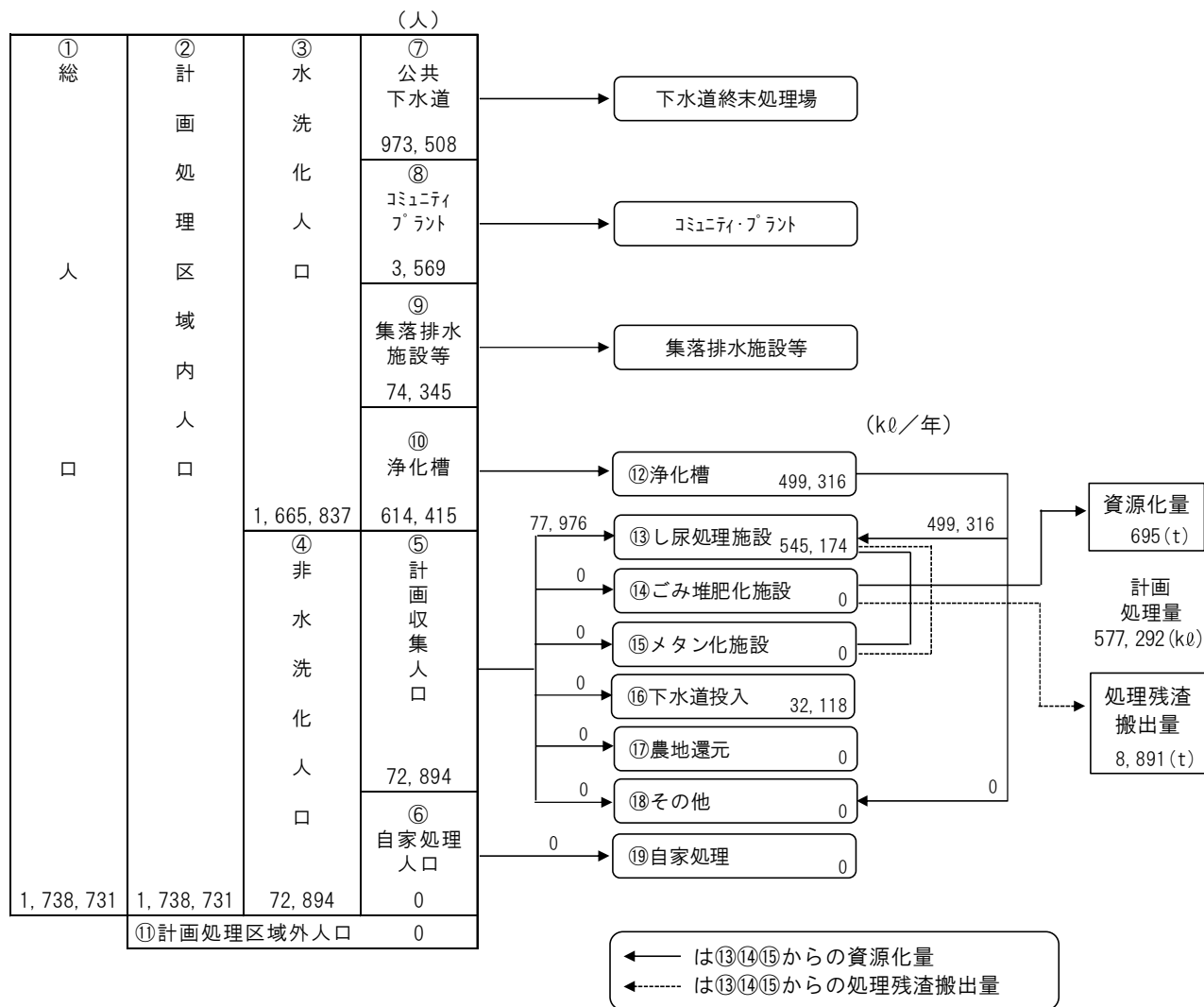
令和5年度と比べると、計画収集総量は14,751kℓ/年増加し、自家処理量は増減がありませんでした。

し尿処理全体の維持管理費等の経費は、4,924,642千円であり、1kℓあたりの処理に要する経費は8,531円(4,924,642千円÷577,292kℓ)となり、令和5年度と比較して28円/kℓ高くなりました。

(2) し尿処理の状況

項目		数値	単位	
計画 収集 人口 等	計画収集区域内面積		5,774.48 km ²	
	計画収集区域内人口		1,738,731 人	
	水洗化 人口	公共下水道人口		973,508 人
		コミュニティ・プラント人口		3,569 人
		集落排水施設等人口		74,345 人
		浄化槽人口		614,415 人
		内 訳	単 独 浄 化 槽 人 口	143,826 人
			合 併 浄 化 槽 人 口	468,717 人
			そ の 他 浄 化 槽 人 口	1,872 人
		水洗化人口 計		1,665,837 人
非水洗化 人口	計画収集人口		72,894 人	
	自家処理人口		0 人	
	非水洗化人口 計		72,894 人	
収集 形態 別 内 訳	市町・組合によるもの	直 営	9,672 kℓ / 年	
		委 託	15,927 kℓ / 年	
		小 計	25,599 kℓ / 年	
	許可業者によるもの		551,693 kℓ / 年	
	計		577,292 kℓ / 年	
種 類 別 内 訳	し尿		77,976 kℓ / 年	
	浄化槽汚泥		499,316 kℓ / 年	
	計		577,292 kℓ / 年	
処 理 内 訳	処理形態別内訳	し尿処理施設	545,174 kℓ / 年	
		ごみ堆肥化施設	0 kℓ / 年	
		メタン化施設	0 kℓ / 年	
		下水道投入	32,118 kℓ / 年	
		農地還元	0 kℓ / 年	
		そ の 他	0 kℓ / 年	
		小 計	577,292 kℓ / 年	
自 家 処 理 量		0 kℓ / 年		
総 排 出 量		577,292 kℓ / 年		

(3) し尿処理のフロー図



- ・ 計画処理率 (②/①) = 100% (人口ベース)
- ・ 水洗化率 (③/①) = 95.8%
 - 公共下水道水洗化率 (⑦/①) = 56.0%
 - コミュニティ・プラント水洗化率 (⑧/①) = 0.2%
 - 集落排水施設等水洗化率 (⑨/①) = 4.3%
 - 浄化槽水洗化率 (⑩/①) = 35.3%
- ・ 非水洗化率 (④/①) = 4.2%
 - 総人口における計画収集率 (⑤/①) = 4.2%
 - 非水洗化人口における計画収集率 (⑤/④) = 100.0%
 - 総人口における自家処理率 (⑥/①) = 0.0%
 - 非水洗化人口における自家処理率 (⑥/④) = 0.0%

(4) し尿処理の内訳

処 理 内 訳

施設数と処理能力

(収集し尿処理内訳比率)

し尿処理施設
577, 292
kℓ / 年
100. 0%

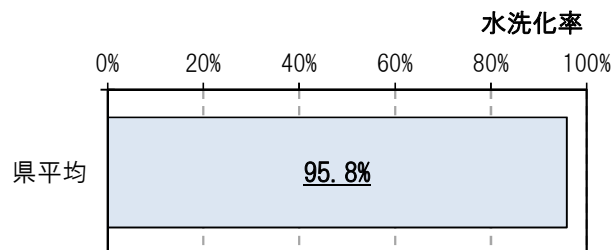
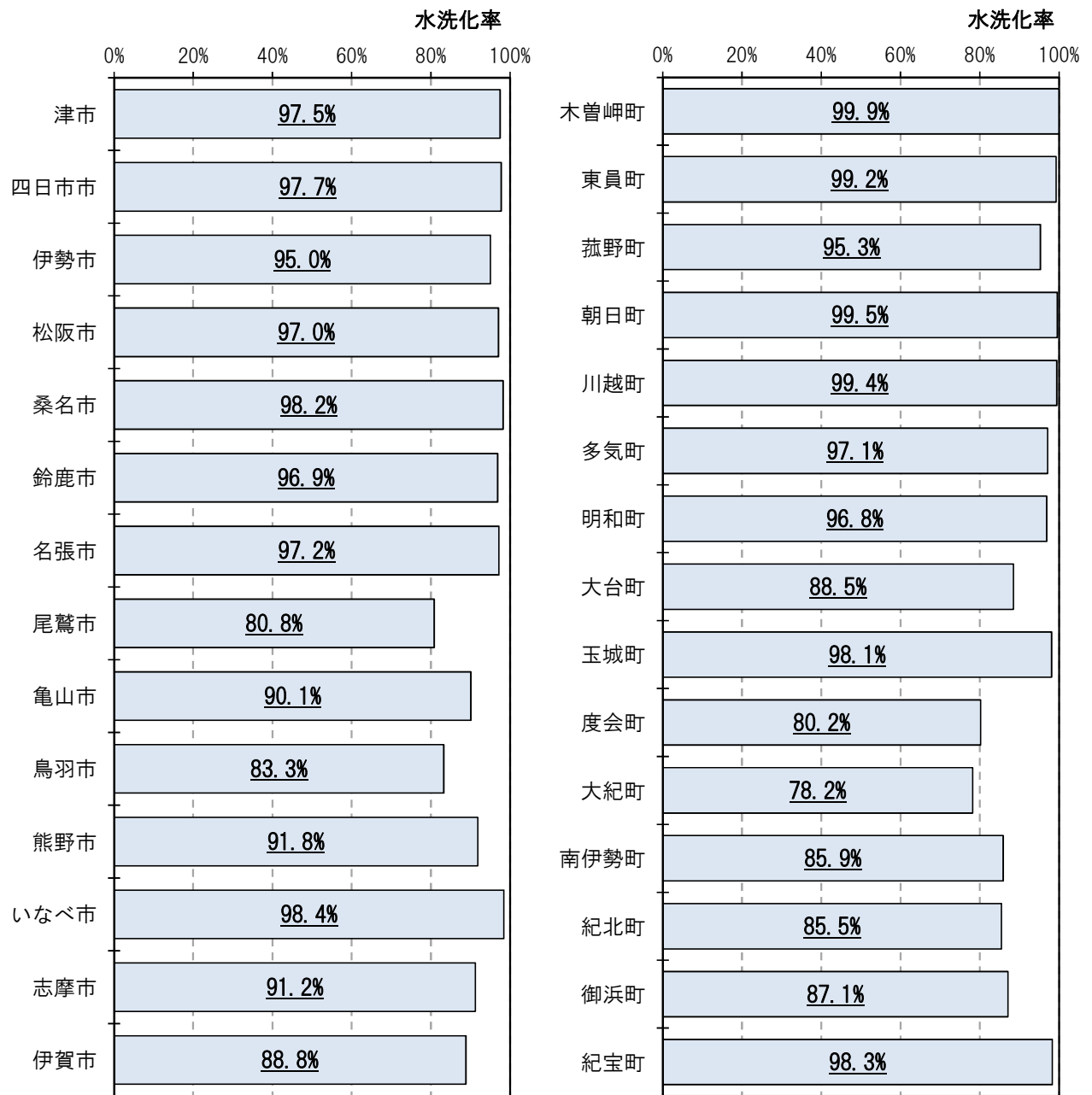
施設種別	施設数	公称能力 (kℓ / 日)
嫌気性処理方式	0	0
好気性処理方式	0	0
標準脱窒素方式	3	530
高負荷脱窒素方式	10	1,517
膜分離方式	9	982
下水投入方式	0	0
計	14	2,082

※ 令和6年度末現在において新設（建設中）、休止、廃止の施設を除く。

※ 施設数、処理能力は施設種別ごとに記載し、計は実数の施設数、処理能力を記載。

- ・ 計画処理量（含む浄化槽汚泥） $(13) + (14) + (15) + (16) + (17) + (18) = 577, 292 \text{ kℓ / 年} \dots\dots a$
- ・ 総処理量（計画処理量＋自家処理） $(13) + (14) + (15) + (16) + (17) + (18) + (19) = 577, 292 \text{ kℓ / 年} \dots b$
- ・ し尿処理施設及び下水道投入による処理率
 $(13) + (16) / a = 100. 0\%$
- ・ 1人1日あたりのし尿計画処理量
 $((a - (12)) \times 10^3) / ((5) \times 365) = 2. 93 \text{ ℓ / 人} \cdot \text{日}$
- ・ 1人1日あたりのし尿排出量
 $((b - (12)) \times 10^3) / ((4) \times 365) = 2. 93 \text{ ℓ / 人} \cdot \text{日}$
- ・ 1人1日あたりの浄化槽汚泥計画処理量
 $((12) \times 10^3) / (((8) + (9) + (10)) \times 365) = 1. 98 \text{ ℓ / 人} \cdot \text{日}$
- ・ 1人1日あたりの浄化槽汚泥排出量
 $((12) \times 10^3) / (((8) + (9) + (10)) \times 365) = 1. 98 \text{ ℓ / 人} \cdot \text{日}$
- ・ 1人1日あたりのし尿及び浄化槽汚泥排出量
 $(b \times 10^3) / (((4) + (8) + (9) + (10)) \times 365) = 2. 07 \text{ ℓ / 人} \cdot \text{日}$

(5) 水洗化率



(6) し尿処理形態の推移

項目／年度	単位	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
計画処理区域内人口	人	1,738,731	1,756,672	1,772,560	1,785,633	1,800,585
水洗化人口	人	1,665,837	1,680,212	1,689,429	1,696,932	1,703,991
公共下水道	人	973,508	993,298	978,967	968,332	978,903
コミュニティ・プラント	人	3,569	3,650	3,672	3,365	3,385
集落排水施設等	人	74,345	75,618	77,402	80,269	-
浄化槽	人	614,415	607,646	629,388	644,966	721,703
非水洗化人口	人	72,894	76,460	83,131	88,701	96,594
し尿処理施設	kl / 年	545,174	562,541	575,824	575,867	591,994
下水道投入	kl / 年	32,118	0	0	0	0
その他	kl / 年	0	0	0	0	0
計(a)	kl / 年	577,292	562,541	575,824	575,867	591,994
自家処理量(b)	kl / 年	0	0	0	0	0
計画処理区域内の総処理量(a)+(b)	kl / 年	577,292	562,541	575,824	575,867	591,994
項目／年度	単位	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
計画処理区域内人口	人	1,812,396	1,820,731	1,829,745	1,834,621	1,836,741
水洗化人口	人	1,711,468	1,708,939	1,728,767	1,721,013	1,716,778
公共下水道	人	959,896	966,920	940,787	892,401	879,245
コミュニティ・プラント	人	3,389	3,065	3,369	3,311	3,332
集落排水施設等	人	-	-	-	-	-
浄化槽	人	748,183	738,954	784,611	825,301	834,201
非水洗化人口	人	100,928	111,792	100,978	113,608	119,963
し尿処理施設	kl / 年	603,744	614,904	613,535	620,050	614,271
下水道投入	kl / 年	0	0	0	0	9,142
その他	kl / 年	0	115	154	145	162
計(a)	kl / 年	603,744	615,019	613,689	620,195	623,575
自家処理量(b)	kl / 年	0	0	0	0	0
計画処理区域内の総処理量(a)+(b)	kl / 年	603,744	615,019	613,689	620,195	623,575

処理量(千㎥/年)

し尿処理形態の推移

